

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2017年9週の県全体の定点当たり報告数は、8週の17.94から減少し14.19となった。5週連続で減少している。特にA型の報告数は減少しているが、B型の報告数は増加しており、今後も流行状況に注意が必要である。

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中15保健所管内で減少し、松戸(19.64)、印旛(17.25)、柏市(16.93)、船橋市(16.47)、山武(16.33)、長生(16.29)、海匝(15.43)、市原(14.64)が多い。

2017年9週の年齢群別報告割合は、5～9歳32.2%、10～14歳18.1%、0～4歳16.6%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳25.8%、10～14歳18.6%、0～4歳15.9%が多かった。

2017年9週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、2,965例中A型2,236例(75.4%)、B型715例(24.1%)、A and B型7例(0.2%)、A or B型7例(0.2%)であった。A型の報告数は減少したが、B型の報告数は増加した。2016/17シーズン合計では、60,188例中A型56,679例(94.2%)、B型3,256例(5.4%)、A and B型49例(0.1%)、A or B型204例(0.3%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

2016/17シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数

